

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		190	5,600		5,410
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	190	5,600		5,410

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和5年度

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

地域資源の保全と魅力アップを図り、観光誘客の場として活用する。

事業概要

まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。

南部杜氏の里まつり 田瀬湖湖水まつり イーハトープ音楽祭 石鳥谷まつり
 あんどんまつり イーハトープフォーラム 石鳥谷まつり 花巻まつり 花巻まつり特産品フェア
 土沢まつり 大迫ワインまつり わんこそば全日本大会 大迫・宿場の雛まつり

上記予定イベントのうち、
 ・開催したイベントは「イーハトープ音楽祭のみ（負担金の支出なし）」
 ・花巻まつり3,800千円と わんこそば全日本大会1,800千円を支出（負担金合計額：5,600千円）

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

まつり、イベントの開催経費の一部負担（単位:千円）

【目的】市がまつり・イベントの実行組織等に財政的な支援を行うことで、まつり・イベントが円滑に運営され、もって交流人口の拡大とそれに伴う賑わい創出や消費拡大等地域活性化を期すもの。

イベント名	負担金額	返還額	開催日	入込数
南部杜氏の里まつり実行委員会負担金	0	0	×6月上旬	0
田瀬湖湖水まつり実行委員会負担金	0	0	×7/24(土)～25(日)	0
イーハトープ音楽祭実行委員会補助金	0	0	12/12(日)	150
石鳥谷夢まつり実行委員会負担金	0	0	×8/13(金)	0
あんどんまつり山車保存会負担金	0	0	×8/14(土)・16(月)	0
イーハトープフォーラム実行委員会負担金	0	0	×8/21(土)～22(日)	0
石鳥谷まつり実行委員会負担金	0	0	×9/8(水)～10(金)	0
花巻まつり実行委員会負担金	3,800	3,749	×9/10(金)～12(日)	0
花巻まつり特産品フェア実行委員会負担金	0	0	×9/10(金)～12(日)	0
土沢まつり実行委員会負担金	0	0	×9月中旬	0
大迫ワインまつり実行委員会負担金	0	0	×9/19(日)	0
わんこそば全日本大会運営委員会負担金	1,800	336	×R4.2/11(金・祝)	0
大迫・宿場の雛まつり実行委員会負担金	0	0	×R4.2/18(金)～3/3(木)	0
5,600千円 - 4,085千円 =1,515千円				150

及び について、負担金を支出したが、イベント開催が中止となったため、既に発生していた経費を除き、返還いただいた4,085千円は雑入に計上した。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		660	1,042		382
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	660	1,042		382

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要

釜石線沿線活性化事業支援 400千円
釜石線沿線の自治体等が連携してS L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金
産業観光/体験観光広告宣伝 242千円
北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画を作成
花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 400千円
花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

広域観光推進事業 1,042千円

釜石線沿線広域エリア活性化委員会負担金 400千円
釜石線沿線広域エリア(花巻・遠野・釜石・住田・大槌)、J R等が共同で実施する誘客事業への負担金
・S L 銀河の運行に合わせた誘客事業
・J R東日本が作製するパンフレットへの広告掲載
・イベント出店等でのPR活動

産業観光/体験型観光PR動画作成 242千円
北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画をR2から作成、観光協会のSNS等で拡散(令和3年度事業完了)
・PR動画作成業務委託

花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 400千円
広域観光誘客事業で3市町の魅力をPRする花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助
・教育旅行の誘致促進のため国内旅行会社を対象に招請・セールス展開
・台湾を中心に現地旅行会社セールスや商談会等への参加

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		27,929	0		-27,929
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	11,200	0		-11,200
	その他	15,000	0		-15,000
	一般財源	1,729	0		-1,729

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標
観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯
観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。老朽化により未使用となった施設等については、安全確保のため、解体撤去の必要がある。

事業概要
交流会館の大規模改修計画策定及び再検討の実施 ・花巻市交流会館屋上防水改修再検討及び劣化調査、改修（修繕）計画策定業務 0千円 本件について当初計画していた事業内容が協議により手法の変更があり、結果的に方針が定まらず補正により全額減額補正をした。そのため事業執行なし。

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1	
観光施設維持事業費	
花巻市交流会館 【現状】施設の経年劣化による老朽化 雨漏りの発生 設備等の老朽化による破損	観光客のイメージの悪化 施設利用者の満足度低下 安全、安心への懸念
【対応策】 小規模修繕での対応 修繕対応不可 利用状況低下 後年度への懸念 劣化調査及び改修（修繕）計画策定 大規模改修の実施	解体撤去
R 3 実施事業 なし（予算執行なし）	
< 概要 > 昭和58年建築から35年以上経過し、過去に大きな改修工事等が実施されていないことから、劣化調査を実施し、改修（修繕）計画策定。 R 2 屋根防水工事修正設計 空調設備等の問題あり 設計の再検討	

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		264,922	115,602		-149,320
財源内訳	国費	82,369	15,577		-66,792
	県費	0	0		0
	地方債	147,000	88,000		-59,000
	その他	0	152		152
	一般財源	35,553	11,873		-23,680

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成30年度	~	令和5年度
------	-------	------	--------	---	-------

部重点施策における目標					
1 地域の特色を生かした賑わいと活力あふれるまちづくりを推進します。(しごと)					

事業開始の背景・経緯					
道の駅「石鳥谷」は、平成5年に県内第1号の道の駅に指定されて以来、約四半世紀が経過したことから、施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、再編整備を行う。					

事業概要					
各施設・外構部の工事 101,304千円(うち繰越明許費27,940千円) 酒匠館内装等改修工事、広場工事、りんどう亭大食堂空調設備改修工事(R2繰越明許) 各施設・外構部の業務委託 12,303千円 南部杜氏伝承館展示改修業務委託、広場散水設備設置業務委託、観光案内看板撤去業務委託他 物販仮設営業に係る移転作業 1,741千円 国や関係機関、団体との協議・共通経費 254千円					

担当部署	23140000 石鳥谷支所 石地(商工)	担当課長	藤原 良浩
------	-----------------------	------	-------

意見・要望等の状況	
市政懇談会などで、道の駅「石鳥谷」の施設再編を望む意見がある。	

事業手法の詳細1	
道の駅「石鳥谷」施設再編事業費	115,602千円(うち繰越明許費27,940千円)
1 各施設・外構部の工事	101,304千円(うち繰越明許費27,940千円)
・酒匠館内装等改修工事	51,414千円
・広場工事	21,950千円
・りんどう亭大食堂空調設備改修工事	27,940千円(うち繰越明許費27,940千円)
2 各施設・外構部の業務委託	12,303千円
(当初計画の業務)	
・広場散水設備設置業務委託	2,640千円
・石碑等移設・支障物件業務委託	2,013千円
・観光案内看板撤去業務委託	152千円
(当初計画以外に実施した業務)	
・国際交流記念樹木移植業務委託	407千円
・酒匠館ガラス窓フィルム設置業務委託	165千円
・酒匠館食堂部天井換気扇改修業務委託	213千円
・りんどう亭厨房配管撤去業務委託	15千円
・りんどう亭大食堂給水管改修業務委託	2,233千円
・りんどう亭大食堂ガラス補修業務委託	880千円
・りんどう亭テイクアウト室自動水洗設置	132千円
・南部杜氏伝承館除菌業務委託	815千円
・南部杜氏伝承館排煙OP移設業務	121千円
・農産物直売所解体修正、下屋増設設計	1,144千円
・りんどう亭大食堂屋根改修工事実施設計	946千円
・南部杜氏伝承館敷地分割届手続き業務委託	171千円
・身障者駐車場確認申請手続き資料等作成	256千円
3 物販仮設営業に係る移転作業	1,741千円
(当初計画の業務)	
・酒匠館什器等移転作業業務委託	418千円
・仮設電気設備設置業務委託	92千円
・仮設誘導板等設置業務	437千円
・簡易パーテーション	192千円
・酒匠館営業レジ移設業務委託	220千円
(当初計画以外に実施した業務)	
・仮設誘導板追加設置業務委託	100千円
・酒匠館遠隔画像監視システム移設等業務	119千円
・酒匠館監視カメラシステム移設等業務	163千円
4 国や関係機関、団体との協議・共通経費	254千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174420	地域産業安定化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	625		625
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	625		625

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		

部重点施策における目標

地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯

地域の観光産業の一翼を担う(株)とうわ地域資源開発公社は、平成28年度及び平成29年度決算において当期純利益が2期連続赤字となったことから、「経営健全化計画」により売上向上を図るとともに、市は「経営健全化方針」による支援を行い、経営健全化に取り組む。

事業概要

経営改善事業補助金 1,250千円 × 1/2 = 625千円
平成31年3月に策定した「株式会社とうわ地域資源開発公社経営健全化方針」に基づき、売上増加等による経営改善を図るため、専門的なコンサルティングを受ける費用に対し1/2の補助を行う。

担当部署	24140000 東和支所 東地(商工)	担当課長	中村 陽一
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

平成30第3回市議会定例会で(株)とうわ地域資源開発公社の平成30年度及び平成29年度の経営状況報告の際、老朽化した温泉施設設備の改修費用について市の支援を検討している旨報告している。

事業手法の詳細1

(1) 経営改善事業補助金 625千円

補助金の概要

(株)とうわ地域資源開発公社の売上増加等による経営改善を図るため、専門的な経営コンサルティング費用に対し、1/2の補助を行うもの。

補助金 625千円 (コンサルティング業務委託料1,250千円 × 1/2 = 625千円)
期間 令和元年度~令和3年度 3年間

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		594,313	802,584		208,271
財源内訳	国費	376,250	652,486		276,236
	県費	198,479	0		-198,479
	地方債	0	0		0
	その他	30	0		-30
	一般財源	19,554	150,098		130,544

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和3年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の激減に伴い、事業活動や経営、雇用の継続に影響を受けている事業者を支援し、もって観光・物産関連事業者の事業継続や雇用維持の一助となることを目的とする。

事業概要

温泉宿泊施設等利用促進事業 748,469千円（繰越執行93,968千円 + 現年執行654,501千円）
 市内の温泉宿泊施設等の利用者（県民）を対象に利用料を助成
 物産関連業者支援業務 14,400千円
 市内の温泉宿泊施設等の宿泊者を対象に市内物産品が当選するキャンペーンを実施
 イベント中止等に伴う準備経費支援金 9千円
 コロナ禍の影響を受け中止となったイベントに対し経費補助
 観光関連施設事業者事業持続支援金 1,500千円
 施設休館に伴い影響を受けた関連事業者に対し事業持続支援
 貸切バス事業持続支援金 34,000千円
 貸切バスの維持・整備等の経費に対し支援
 まつり山車団体継続支援事業補助金 4,206千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

観光・物産事業者等緊急対策事業費 802,584千円（繰越執行93,968千円 + 現年執行708,616千円）

- 温泉宿泊施設等利用促進事業 748,469千円（繰越執行93,968千円 + 現年執行654,501千円）
市内温泉宿泊施設等を利用する県民等を対象に、利用料の助成を行うことにより、温泉宿泊施設等の利用促進と市内への誘客促進を図った。
- 物産関連業者支援業務 14,400千円
市内温泉宿泊施設等の宿泊者を対象に、市内物産品が当選するキャンペーンを実施。対象者にはキャンペーン応募サイトのQRコードを付したマスクケースを配布した。マスクケースにはWEBショップのQRコードも付けることで、市内物産品のPR・販売促進も併せて実施（花巻観光協会への委託）。
- イベント中止等に伴う準備経費支援金 9千円
感染拡大による市の施設の休館により、イベント等の中止・延期を余儀なくされた場合、発生済みの準備経費について支援したものを。
- 観光関連施設事業者事業持続支援金 1,500千円
感染拡大による市の観光施設等の休館に伴い、休館した施設管内で営業していた事業者及び隣接する店舗で営業していた事業者に対し、事業継続支援のために支援金を給付。
- 貸切バス事業持続支援金 34,000千円
貸切バスを運行せずとも維持や整備等に経費が発生するため、バス1台につき200千円を支援。
- まつり山車団体継続支援事業補助金 4,206千円
翌年の山車運行に向け、山車の維持や修繕、管理等にかかる経費について支援。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174450	観光施設等感染症予防対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		18,999	10,371		-8,628
財源内訳	国費	18,503	10,371		-8,132
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	496	0		-496

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します。

事業開始の背景・経緯
長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令等により観光客が激減。宿泊業はじめ、観光関連事業者は深刻な影響を受けているが、事業者は感染症拡大防止のため、引き続き必要な措置を講じる必要がある。

事業概要
市内の宿泊事業者が、岩手県観光宿泊施設緊急対策事業費補助金を活用し、下記の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等にかかる整備を行う場合、当該整備に要する経費のうち1/4相当分を支援する（県の補助に上乗せ）（県補助は1/2）。 (1) 感染症対策に資する物品の購入等 10,371千円 設備、備品の購入 備品のリース 消耗品の購入 専門家による感染症対策の検証 (2) ワークーション、マイクロツーリズム等新たな需要に対応するための受入環境整備 0千円 コンテンツ開発 施設改修 備品購入 非接触チェックインシステムの導入

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1			
1. 宿泊施設感染症対策等整備支援事業 10,371千円 宿泊施設における新型コロナウイルス感染症対策のため、市内の宿泊事業者が感染症対策整備を行う場合に、当該整備に要する経費を補助する。			
補助実績内訳			
収容人数	補助上限額	補助施設数	補助総額
A 500人以上	1,250千円	5	6,250千円
B 100~499人	750千円	5	3,085千円
C 50~99人	500千円	1	500千円
D 50人未満	250千円	3	536千円
合計		14	10,371千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174460	東北デスティネーションキャンペーン推進

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	1,548		1,548
財源内訳	国費	0	333		333
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,215		1,215

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和3年度	~	令和3年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

市内事業者と連携し、観光コンテンツの拡充と受入れ環境の整備を推進する

事業概要

「雨ニモマケズ」手帳公開	841千円
「雨ニモマケズ」手帳公開中止に伴う駐車場警備委託契約の解約料	
八幡田んぼアート	278千円
例年開催している「八幡田んぼアート」に特別に「東北DC」の文字を追加	
東北DCノベルティグッズ作製等	402千円
花巻駅前歓迎フラッグ再設置	27千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

東北デスティネーションキャンペーン推進事業費 1,548千円

- 「雨ニモマケズ」手帳公開 841千円
9/8から9/21まで宮沢賢治記念館にて「雨ニモマケズ」実物の手帳の公開を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受け、施設が休館となったことから開催中止となった。このことに伴い、先んじて契約していた駐車場警備にかかる委託契約の解約を行ったもの。
・駐車場警備にかかる委託契約解約料 841千円
- 八幡田んぼアート 278千円
石鳥谷八幡地区で例年開催されている「八幡田んぼアート」について、9月の「雨ニモマケズ」手帳公開をにらみ、モチーフを宮沢賢治作品の「やまなし」とし、さらに特別に「東北DC」の文字を加えることで、誘客促進と地域活性化を図ったもの。
・環境整備（草刈り）委託 34千円
・デザイン等委託 65千円
・チラシ作製委託 179千円
- 東北DCノベルティグッズ作製等 402千円
・東北DC期間中の特別運行列車利用客を対象にしたノベルティグッズの作製 280千円
・遠野・奥州・平泉・花巻 四市町広域連携共通ノベルティバッグの作製 109千円
・郵送料 13千円
- 花巻駅前歓迎フラッグ再設置 27千円
花巻駅前に設置した歓迎装飾（フラッグ）の撤去・再設置等を行ったもの。